

雪内家負請業者電柱・電線

《約款》

- 第1条 おのおの対等な立場において互いに協力し、信義を守り、誠実にこの契約を履行する。
- 第2条 請負者は注文者の認める図面や契約内容により作業を行い、作業の増減等は両者協議の上決定する。
- 第3条 上記に記載した以外の追加作業費用については、注文者の負担とする。
- 第4条 注文者は正当な理由なく契約解除する場合、それによる請負者の損害は注文者の負担とする。
- 第5条 作業に支障を及ぼす天候の不良、その他請負者の責に帰することができない事由が生じた場合作業の一時中断や作業中止となる場合がある。

《排雪の注意事項》

- (1) 作業箇所については、立ち木、電柱、門塀、路面などの損傷を防ぐ為、障害物などからは30~50センチ程度路面からは5センチ程度残しています。
- (2) 障害物に関しては、必ず目印を立てて下さい。
 - ①塀に関しては塀の内側に目印を立ててもらいます。その際、排雪時は目印から50センチ離して雪を取ります。
 - ②小さな木や花壇についても目印が雪に埋もれないように立てて下さい。
 - ③排雪箇所の上に伸びている木に関しましては、排雪の妨げになるので、切断していただくか、もしくは雪を溜める箇所の変更をお願いする場合があります。
 - ④目印はどんなものでも構いません。雪に埋もれないものをお願いします。
- (3) シーズン排雪は原則11回となりますが、町内のパートナーシップなどの排雪が重なった場合は作業を中断する場合があります。(町内排雪の場合は、民間の業者は立入り禁止になる為)
尚、この場合は1回分作業回数が減ることとなりますが、シーズン契約の為、排雪料金は返金されませんのであらかじめご了承下さい。
- (4) I型は基本的に自宅前塀に沿って10M前後の雪を持っていきます。また、道路上の雪が対象なので、敷地内の雪は絶対に出さないで下さい。なお、雪害による大雪の場合は、最大で4tダンプ1台分までとなります。残った雪に関しては次回の排雪日に持って行きます。
- (5) L型は基本的に自宅前塀に沿って15M前後の雪を持っていきます。また、道路上の雪が対象なので、敷地内の雪は絶対に出さないで下さい。なお、雪害による大雪の場合は、最大で4tダンプ1.5台分までとなります。残った雪に関しては次回の排雪日に持って行きます。
- (6) ピンポイントはショベルバケット2杯分のみです。
- (7) 基本的に時間の指定はできません。雪害などで作業が遅れる場合もありますのであらかじめご了承下さい。
- (8) 作業中は大変危険ですので、機械やダンプに絶対に近づかないで下さい。
*運転席から死角となり視界に入らない為、半径3M以内には絶対に近づかないで下さい。
- (9) 敷地内からの社会常識・モラルに反する雪の投げ出しを行なった場合、請負者は追加料金の請求を注文者に行い、追加料金を支払わない場合はその分の雪の運搬・処分を放棄し契約を解除する場合があります。
- (10) 注文をしていない方が注文者の契約排雪部分に雪を出している時は契約違反とし契約を解除する場合があります。
- (11) 作業場所に車などが駐車している場合は、車に損傷を与える危険があるため作業を行わない場合があります。
- (12) 注文者のご都合で契約を途中解約する場合は、シーズン契約金を全額お支払いいただきます。

《除雪の注意事項》

- (1) 午前中に作業を行った後、日中に再度雪が降り続き積もった場合は、深夜もしくは次の日の午前の作業となりますのであらかじめご了承下さい。
- (2) 雪害などで作業が遅れる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- (3) 除雪作業は降雪時のみの作業となります。札幌市による道路拡幅などで重機が雪を置いていった場合や雪溝ができた場合などはシーズン除雪には含まれておりません。
*別途単発での依頼につきましては、都度ご連絡を頂いて作業をすることができます。その場合は、作業終了に集金となります。
- (4) 除雪作業終了後に、設置した作業版にサインをいたします。悪天候によって作業時間がずれ込み伺った時間にお客様が先に除雪をされた場合でも回った時間を記入いたします。
- (5) 除雪作業は、人力作業となります。

《雪下しの注意事項》

- (1) 住宅の屋根の雪降ろしについては、軒下や落下防止のため、作業員1名、見張り1名の作業となります。
- (2) カーポートや物置の雪下しについては、作業の危険度が緩和されるため作業員1名の作業となります。
- (3) 住宅屋根の雪下しの条件として、住宅にはしごが設置されていることが条件となります。
- (4) 雪下し作業での窓などの養生については作業に含まれています。

以上のことを踏まえ、お互いが信頼と安心の関係を築き、末永いお付き合いができることを、社員・従業員一同心より願っております。